

平成 31 年度  
事業計画書

公益財団法人神奈川県公園協会

# 目 次

I	業務概要	1 頁
1	名称等	1 頁
2	基本財産	1 頁
3	設立目的及び事業	1 頁
4	評議員及び役員	2 頁
5	組織及び分掌事務	3 頁
II	平成 31 年度事業計画	5 頁
1	平成 31 年度事業体系図	5 頁
2	平成 31 年度事業運営方針	6 頁
3	平成 31 年度事業計画	6 頁
	(1) 公益目的事業	6 頁
	(2) 収益事業	20 頁
	(3) 公園協会管理運営事業	24 頁

## I 業務概要

### 1 名称等

- (1) 名称 公益財団法人神奈川県公園協会  
(2) 所在地 横浜市中区扇町三丁目8番地8  
(3) 設立・沿革 昭和50年3月20日  
財団法人神奈川県公園協会発足  
平成7年4月1日  
財団法人神奈川県自然公園協会と統合  
平成23年4月1日  
公益財団法人神奈川県公園協会に移行

- 2 基本財産 1億9,000万円（内100万円は神奈川県出捐）

### 3 設立目的及び事業

#### (1) 目的（定款第3条）

みどり・環境の保全と創造に関する普及啓発等を行うとともに、安らぎと快適な生活空間を提供する都市公園及び自然公園施設等の適切な管理運営を行いその利用を促進し、県民の健康・福祉の増進と県土のみどり・環境の保全と創造を図り、地域社会の健全な発展に寄与する。

#### (2) 事業（定款第4条）

##### ア 公益目的事業

(ア) みどり・環境の保全と創造に関する普及啓発等

(イ) 安らぎと快適な生活空間を提供する公園施設等の管理運営、利用促進等

##### イ 収益事業等

(ア) 公益目的事業を推進するための駐車場及び売店等の経営

(イ) その他目的を達成するために必要な事業

#### 4 評議員及び役員

##### (1) 評議員 (平成 31 年 3 月 31 日現在)

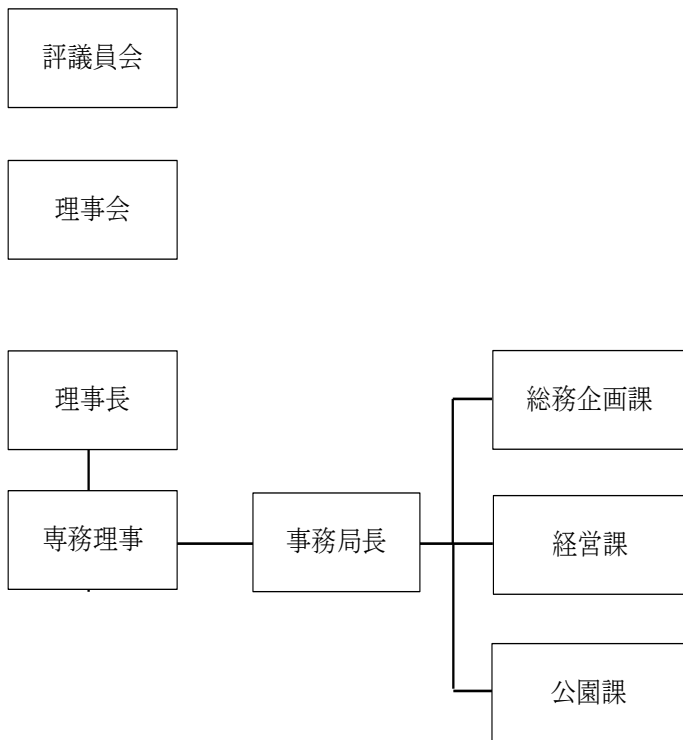
役職名	氏名	現職等
評議員	有路 信	一般社団法人日本公園緑地協会会長
評議員	田嶋 裕美	株式会社建築プラス環境設計事務所取締役
評議員	中村 道也	NPO法人丹沢自然保護協会理事長
評議員	原田 一明	立教大学法学部教授
評議員	寶積 泰之	公益社団法人かながわ住まい・まちづくり協会 会長
評議員	松藤 静明	元神奈川県企業庁長

##### (2) 役員 (平成 31 年 3 月 31 日現在)

役職名	氏名	現職等
理事長	平野 浩一	(専任)
専務理事	井立 雅之	(専任)
理事	石井 邦夫	元財団法人神奈川新聞厚生文化事業団 専務理事
理事	石村 隆生	箱根温泉供給株式会社代表取締役社長
理事	長田 誠	元財団法人シルクセンター国際貿易観光会館 専務理事
理事	羽澄 俊裕	元東京農工大学農学部地域生態システム学科 特任教授
理事	山田 勝巳	一般社団法人日本公園緑地協会顧問
監事	木原 英和	大和市監査委員
監事	小山 明枝	税理士法人横浜会計事務所代表税理士

## 5 組織及び分掌事務

### (1) 組織



- 保土ヶ谷公園
- 塚山公園
- 秦野戸川公園・山岳スポーツセンター
- 大磯城山公園
- 辻堂海浜公園・湘南汐見台公園
- 茅ヶ崎里山公園
- 境川遊水地公園
- 恩賜箱根公園
- 相模原公園
- 七沢森林公園
- 座間谷戸山公園
- 津久井湖城山公園
- いせはら塔の山緑地公園
  
- 秦野ビジターセンター
- 西丹沢ビジターセンター
  
- 大涌谷駐車場
- 大涌谷インフォメーションセンター

○・・・指定管理者

役職員数（平成31年3月31日現在）

区分	常勤 役員	常勤 職員	専門員	計
事務局	2人	14人	2人	18人
公園等		38人	43人	81人
合計	2人	52人	45人	99人

## (2) 分掌事務

### □総務企画課

- ・協会運営の企画立案及び調整に関すること
- ・定款及び諸規程に関すること
- ・評議員会及び理事会に関すること
- ・人事、服務、給与及び旅費に関すること
- ・職員の研修に関すること
- ・福利厚生、被服貸与、労働安全及び衛生管理に関すること
- ・文書の收受、発送及び協会印に関すること
- ・情報公開及び個人情報保護に関すること
- ・その他、他課の主管に属しないこと

### □経営課

- ・協会の経営計画の策定及び総合調整に関すること
- ・協会予算及び決算の統轄に関すること
- ・資産の管理及び運用に関すること
- ・金銭並びに物品の出納及び保管に関すること
- ・契約事務に関すること
- ・会計システムの運用に関すること

### □公園課

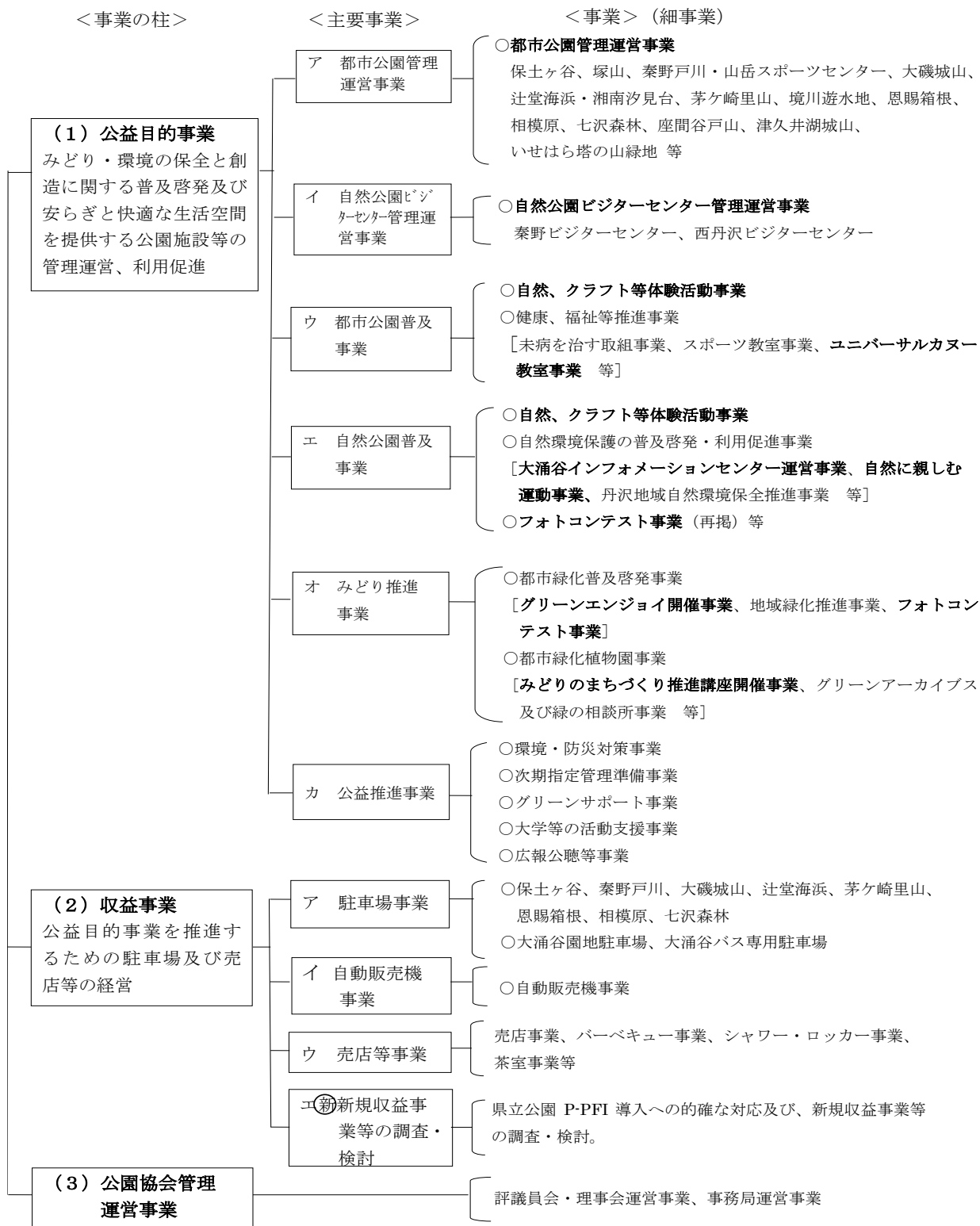
- ・所管する協会事業の総合的な企画及び調整に関すること
- ・公益目的事業の総合的な企画、調整及び調査研究に関すること
- ・みどり・環境の保全と創造に関する普及啓発事業に関すること
- ・指定管理事業に係る調査研究及び企画・調整に関すること
- ・公園、ビジターセンター等の管理運営の統括及び予算執行・決算、事業の執行管理に関すること
- ・公園等における収益事業の企画、調整及び運営に関すること
- ・大涌谷駐車場、大涌谷インフォメーションセンターに関すること
- ・防災対策活動指針等に関すること
- ・執行管理システムの運営及び総合調整に関すること
- ・NPO、ボランティアその他関係団体との協働等に係る総合調整に関すること
- ・広報刊行物、広報資料の作成及びホームページの運営その他協会事業の情報提供に関すること
- ・緑化協力金に関すること
- ・関係機関等との連絡調整に関すること

### □公園、ビジターセンター等

- ・公園、ビジターセンター等の管理運営方針に沿った施設の管理運営に関すること
- ・みどり・環境の保全と創造に関する普及啓発事業の企画立案、実施に関すること
- ・公園、ビジターセンター等の利用促進に係る自然観察会、講習会、研修会、イベント等の企画開催に関すること
- ・公園、ビジターセンター等の収益事業に関すること
- ・公園、ビジターセンター等の施設、遊具を始め利用者に対する安全管理に関すること
- ・公園、ビジターセンター等の情報収集及び情報発信に関すること
- ・NPO、ボランティアその他関係団体等との連絡調整及び協働に関すること
- ・関係機関等との連絡調整に関すること

## II 平成 31 年度事業計画

### 1 平成 31 年度 事業体系図



※太字は、行政庁へ公益目的事業として届け出ている事業

## 2 平成 31 年度事業運営方針

平成 31 年度は 5 月の改元、10 月に消費税率アップが予定されるほか、「ラグビーワールドカップ 2019 日本大会」が開催され、11 月に横浜で決勝戦が行われる。加えて、翌年の「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会」開催を控え、その準備、機運醸成が図られる年となる。

指定管理業務に関しては、県立都市公園への「公募設置管理制度 (Park-PFI) (以下「P-PFI」という。)」の導入検討に伴い、指定管理期間が平成 27 年度から平成 31 年度の 5 年間から平成 33 年度までの 7 年間に 2 年間延長される一方、県立ビジターセンターについては予定どおり最終年度を迎えることとなる。

指定管理期間が 2 年延長された、県立都市公園の第三期指定管理の 5 年目にあたることから、引き続き、提案事業の実施状況の再確認を行い、提案内容の実現に向け、積極的に取り組むこととする。加えて、前年 5 月に行った「SDGs 宣言」に基づき、持続可能な社会の実現に寄与する公園管理に取り組むほか、多発する自然災害に対する備え等、社会環境の変化を的確に捉え、事業実施に反映する。

また、県立都市公園については、P-PFI にかかる情報収集や応募可能性等について引き続き検討を行うほか、第四期指定管理の応募に向け、これまでの成果と課題を検証した上で、新規事業の企画をはじめ、提案事業全般に亘る検討を行うなど、着実な準備を行う年として位置づける。

県立ビジターセンターについては、提案事業の最終確認及び実現に取り組むとともに、第二期指定管理の面接審査に向けた準備や、次期指定管理期間への円滑な移行に向け万全な準備を行う。

なお、将来の経営環境の変化に備えるためにも、既存事業の不断の見直しや収入の拡充方策の検討を行なうなど、更なる効率化や財源の確保に取り組むものとする。

このような様々な取り組みを通じて、資産を生み出す努力を行い、将来の公益目的事業や収益事業、指定管理公園の状況変化に備えるための積み立てを行うなど、財政基盤の強化を図りながら公益財団法人としての更なる公益性の向上に取り組む。

## 3 平成 31 年度事業計画

### (1) 公益目的事業

#### ア 都市公園管理運営事業

指定管理者として管理する県立都市公園等 14 施設等の管理運営を行う。



① 都市公園管理運営事業

保土ヶ谷公園、塚山公園、秦野戸川公園・山岳スポーツセンター、大磯城山公園、辻堂海浜公園・湘南汐見台公園、茅ヶ崎里山公園、境川遊水地公園、恩賜箱根公園、相模原公園、七沢森林公園、座間谷戸山公園、津久井湖城山公園

■ 県立保土ヶ谷公園の管理運営

共同事業者である（株）サカタのタネ、サカタのタネグリーンサービス（株）、（株）オーチューと連携し、硬式野球場、サッカー場、プール、駐車場等、様々な施設の適切な管理運営を行う。

運動公園として、スポーツを「する・みる・ささえる」の視点から各種イベントを開催するとともに、ラグビー場の平日料金を設定するなど、運動施設の閑散期の利用促進に取り組む。

また、平成 31 年 9 月から 11 月に開催されるラグビーワールドカップ日本大会や、翌年の東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を見据え、各種団体との連携を深めるとともに、アウトドアフィットネス教室等のスポーツに関連したイベントの充実に取り組む。

スポーツ関連以外でも、キャンドルナイトや梅まつり等の地域に密着したイベントの一層の定着化と充実に取り組む。

本公園の広域避難場所、広域応援活動拠点としての防災機能をさらに高めるため、園内施設を利用する団体と連携した防災訓練を行う。

■ 県立塚山公園の管理運営

共同事業者である県立塚山公園保存会と連携し、サクラの名所として、枯損木、天狗巣病の処理等を実施しサクラの植生管理を行うとともに、眺望の確保と適切な樹林地管理、四季を通じて楽しめる花修景づくりを行う。

また、横須賀市観光協会や地元市民団体と連携したイベントを開催するほか、ホームページにおいて三浦按針ゆかりの地としての由来や桜の開花状況のライブ配信を行うなど、さらなる利用促進に取り組む。

■ 県立秦野戸川公園・山岳スポーツセンターの管理運営

第三期指定管理において、両施設は一体的管理となり、それぞれの施設の特徴を生かした適切な管理を行う。

秦野戸川公園は、表丹沢を望む雄大なロケーションや都市近郊のアウトドアレクリエーションの拠点として、安全・快適な環境を提供する。

また、秦野市や地元自治会、地元農家、市民団体等と協力し、地域と一体となった各種イベントの開催や、チューリップやアジサイを始めとする花々による見どころをさらに充実させる。

山岳スポーツセンターは、県内有数のクライミングウォールを有する山岳スポーツの拠点として知識・技能の習得とともに、安全登山の普及に努める。また、スポーツクライミングが東京 2020 オリンピックの競技種目になっていることから機運醸成に協力する。

さらに、同敷地内で当協会が管理運営する秦野ビジターセンターと一体となった事業を展開し、更なる魅力アップを図る。

#### ■ 県立大磯城山公園の管理運営

共同事業者である湘南造園(株)と連携し、旧三井財閥別荘跡地、旧吉田茂邸跡地の公園として、適切な管理運営を行うとともに、大磯の邸園文化に根付く「おもてなし」の心による上質な癒し空間となる公園づくりを行う。

また、旧吉田茂邸地区において、公園ガイドツアーや大磯の歴史探訪イベントを充実させるほか、紅葉のライトアップ、茶室「城山庵」や「ギャラリー北蔵」における体験教室等を開催する。

さらに、平成 30 年度に引き続き、国が整備を進める「明治記念大磯邸園」に協力し、大磯町郷土資料館と連携した公園の利用促進と観光拠点化を進める。

#### ■ 県立辻堂海浜公園・湘南汐見台公園の管理運営

共同事業者である(株)オーチューと連携し、ジャンボプールや交通公園、交通展示館、有料駐車場等の様々な施設・設備について、修繕箇所の早期発見・早期対応を行うとともに、公園全体にわたる県の再整備事業とも連動した適切な維持管理を行う。

また、「辻の盆」などの大規模イベントに加え、地域の人材や資源を活用した利用プログラム「かいひんSUN-DAY事業」等を開催することにより、これまで築いてきた地域連携の一層の充実を図る。

さらに、「やさしいうんどう教室」、「寝たきりゼロ体操」や「ユニバーサルカヌー体験教室」などの健康づくりプログラムを実施

するほか、閉鎖期間のプールにおいて「水辺の安全を一緒に学ぼう」イベントを開催し、閑散期の施設の有効活用を図る。さらには、水仙ガーデンの充実など利用者サービスの向上に取り組む。

#### ■ 県立茅ヶ崎里山公園の管理運営

里山景観が残る公園の特性を踏まえ、「眺め・歩き・食し・学び・楽しむ 里山の恵み伝える公園」を管理運営方針として、「茅ヶ崎里山公園倶楽部」をはじめとしたボランティア等と連携、協働し、県民参加型の県民に親しまれる公園づくりを行う。

また、幅広い層の県民に、自然とのふれあいをはじめ、エリア毎の特徴を活かした多様なレクリエーションの場を提供する。

「畑の村」エリアでは、地域の小学生を対象とした農体験プログラム「里山学校」の実施や、バーベキュー場の運営などによる利用促進に取り組む。

さらに、パークセンター内の喫茶・軽食コーナーを引き続き、「茅ヶ崎里山公園地域連絡協議会」と連携し運営するなど、来園者の利便性の向上に取り組む。

#### ■ 県立境川遊水地公園の管理運営

遊水地公園としての機能・役割を踏まえ、適切な維持管理による遊水地機能の確保や利用者の安全確保に努めるとともに、遊水地の役割や水害対策等についての普及啓発を行う。

また、水辺の自然豊かなビオトープを適正に維持管理、保全するとともに、地域と連携した環境学習の場としての活用を図る。

さらに、スポーツ施設においては、健康スポーツ教室の開催や広報の充実等により、施設の利用促進と県民の健康増進に寄与する。

#### ■ 県立恩賜箱根公園の管理運営

平成25年8月に国登録記念物にも登録された歴史ある公園として、共同事業者である(株)小田急ランドフローラと連携し、景観や史跡の保全に配慮した適切な維持管理を行う。

また、バラや牡丹の展示会を開催し利用を促進するほか、近隣施設の「箱根関所」が設置400年を迎えることから、実行委員会の一員として記念事業に協力するなど、周辺地域の活性化に取り組む。

さらに、「沼津御用邸記念公園」をはじめ、皇室とゆかりのある

静岡県東部の3公園と連携したパンフレットの配架、イベント開催及び回遊性を高めるスタンプラリーを実施するなど、更なる利用促進に取り組む。

#### ■ 県立相模原公園の管理運営

共同事業者である（株）サカタのタネ、サカタのタネグリーンサービス（株）と連携し、魅力ある景観づくりと緑の情報発信等の充実に取り組み、一層の利用促進を図る。

本公園のシンボルの一つであるフランス式庭園においては、芝生の緑に花々が映える美しい庭園としての魅力を維持する。

また、「サカタのタネグリーンハウス」では、館内の無料区域において、来園者が気軽に立ち寄り休憩して花と緑の魅力に触れる場を提供する。

さらに、「グリーンアーカイブス」において、県内の都市公園や都市緑化に関する資料の収集・展示を行うなど、都市緑化植物園としての機能拡充に取り組む。

なお、本公園は開園40周年を迎えることから、恒例のイベントを花の彩りと音楽の賑わいで充実するなど、更なる利用促進に取り組む。

#### ■ 県立七沢森林公園の管理運営

自然豊かな里山環境を維持するため、計画的な間伐を行うとともに、間伐材や落ち葉を炭や堆肥等に活用するなど、資源循環型の管理を行うほか、ヤマビルの生息しにくい明るい樹林地づくりに取り組む。

また、七沢温泉郷地域が県内初の森林セラピー基地として認定されていることを活かし、「森林セラピー体験ウォーク」や「ノルディックウォーキング体験」など心身の健康づくりに資するプログラムやサービスの充実を図る。

さらに、地元の七沢温泉や観光協会等と連携したイベントを充実するなど、更なる地域の活性化に貢献する。

#### ■ 県立座間谷戸山公園の管理運営

自然豊かな里山環境を活かして整備された公園を継承するため、里山の景観、谷戸の生物の多様性に配慮した適切な管理運営を行う。

また、市民活動の意見交換の場である運営会議を開催するとと

もに、ボランティアとの共同作業を通じ、維持管理やイベント運営に関わる手法、技術を伝えるとともに、連携の強化に取り組むなど、市民参加による管理運営を継続する。

さらに、様々なイベントやプログラム等の充実により、里山体験を通じて自然に親しむ場や、ウォーキングや散策による健康づくりの場を広く県民に提供する。

#### ■ 県立津久井湖城山公園の管理運営

戦国時代の山城跡と豊かな自然環境を生かした公園として、「しろやまオープンミュージアム」、「快適な湖畔の憩いの空間」を管理運営方針に掲げ、歴史、環境教育の場として、相模原市立博物館や県考古学財団との連携を強化しながら、自然と歴史の学習機会を幅広く提供する。

また、スマートフォンユーザーに向けた歴史セルフガイドシステムを導入し、津久井城の歴史や遺構について、写真や図を用いて、より分かりやすい情報提供を行う。

さらに、地元の観光協会や商工会と連携した津久井城祭りの開催や津久井城ブランドの名製品の普及等、地域と一体となった観光拠点づくりを進めるとともに、来園者の憩いの場を提供する。

#### ② 県立いせはら塔の山緑地公園の管理運営

伊勢原市に残る貴重な緑地を、県が土地所有者の理解と協力を得て借り受け、都市緑地法に基づき市民緑地制度を活用し、保全、整備を進める全国初の緑地公園であり全体計画面積 33ha のうち、現在 13ha が暫定開園している。

本公園の管理運営にあたっては、緑地公園としての特性を活かし、地権者や NPO 団体等との連携を図り、良好な里山環境を保全・復元し県民緑地としての活用を推進する。

また、地域団体等と連携した展示やイベントを充実し、「緑豊かな県民の憩いの場」を提供する。

#### ③ 大磯町からの受託事業

大磯城山公園内に位置し、大磯町が管理する「大磯町郷土資料館」及び「旧吉田茂邸」の敷地内の樹木管理業務等を受託し、適切に実施する。

## イ 自然公園ビジターセンター等管理運営事業

自然公園ビジターセンター2施設において、丹沢の自然情報や登山情報を収集・発信し、登山者の安全確保を図るとともに、自然保護の大切さについて普及啓発を進める。実施にあたっては、両ビジターセンターが一体となり効果的・効率的な運営に取り組む。

また、第一期指定管理期間の最終年度として提案事業の最終確認及び実現に取り組むとともに、第二期指定管理の面接審査に向けた準備や次期指定管理期間への円滑な移行に向け万全な準備を行う。

さらに、都市公園と連携した写真展を開催するなど、幅広い普及啓発や利用促進に取り組む。

### ■ 県立秦野ビジターセンターの管理運営

丹沢山地の中で最も登山者が多い塔ノ岳の登山口に位置する当施設は、主に表丹沢及び東丹沢地域の登山情報や自然情報の収集・発信拠点としての管理運営を的確に行う。

また、引き続き地元警察や登山団体等と連携し、安全登山の普及啓発を行うほか、秦野戸川公園に訪れる家族連れなどの幅広い利用者層に応じた楽しめる展示制作や自然体験プログラムを通じた自然保護の普及啓発に取り組む。

### ■ 県立西丹沢ビジターセンターの管理運営

檜洞丸を中心とした西丹沢の登山口に位置する当施設は、本格的な登山・沢登りを目的とした利用者が多いことから、西丹沢地域における自然や登山の情報収集・発信の充実とともに、展示や自然教室を通じた自然保護の普及啓発に取り組む。

また、引き続き地元警察や自然公園指導員等と連携し、山岳遭難防止の更なる普及啓発に取り組む。

## ウ 都市公園普及事業

### ① 自然、クラフト等体験活動事業

公園を活用した環境学習、自然教室、クラフト体験教室等を通じ、みどり・環境の保全についての理解を深める。

また、恩賜箱根公園における「箱根関所」の設置400周年事業への協力や、相模原公園の開園40周年としてのイベントの充実に取り組む。

### ② 健康、福祉等推進事業

公園の施設を活用した未病改善の取り組みとして、各公園において日

頃から行えるノルディックウォーキング等を推進するとともに、様々なスポーツ大会やウォーキング教室を開催する。

また、辻堂海浜公園において、誰もが安全に楽しめる「ユニバーサルカヌー」の体験試乗会等を実施する等、健康、福祉の推進に取り組む。

引き続き、「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会」の応援プログラム認証団体として、各公園で実施する応援プログラムを通じた機運醸成に取り組む。さらに、保土ヶ谷公園等において、ヨガ等のアウトドアフィットネスイベントを開催するとともに、公園における健康増進プログラムの情報を広く発信する。

## エ 自然公園普及事業

### ①自然、クラフト等体験活動事業

ビジターセンターや自然公園において環境学習、自然教室、クラフト体験教室の開催や、学校等への講師派遣を通し、みどり・環境の保全についての理解を深める。

### ②自然環境保護の普及啓発・利用促進事業

大涌谷インフォメーションセンターにおいて、大涌谷をはじめとした箱根地域の自然、歴史、見どころ等の情報を収集し広く公開するとともに、環境省（箱根自然環境事務所）、神奈川県、箱根町、（一財）自然公園財団箱根支部、当協会で組織する「箱根地域自然に親しむ運動実行委員会」の一員として、自然に親しむ運動事業を開催し、誰もが箱根の魅力に触れることができる機会を提供し、箱根地域の自然環境保護の普及啓発と利用促進を図る。

### ③丹沢地域自然環境保全推進事業

丹沢大山自然再生委員会の会員として自然環境保全の普及活動に協力するほか、県の「丹沢大山クリーンピア 21」に協力し、各ビジターセンターで丹沢のゴミ持ち帰り運動を行うなど、丹沢地域の自然環境保全活動に取り組む。

## オ みどり推進事業

### ①都市緑化普及啓発事業

#### ■グリーンエンジョイ開催事業

NPO 法人と協働し、県民参加による都市緑化先進事例の見学会を企画・開催する等、みどり・環境の保全と創造に関する普及啓発を推進する。

## ■地域緑化推進事業

### ・地域緑化活動支援事業

花と緑にあふれたまちづくりを推進するため、公園周辺の幼稚園、保育園の花壇・農園づくりへの支援や、公園周辺、街中での緑化活動の支援を地域・関係団体等と連携し行う。

### ・花苗事業

花苗の購入経費の節減、障がい者の就労支援等を目的とし、各公園の花壇や街中での緑化活動のための花苗を、生産農家や福祉施設と協働し生産を行う。また、県内の学校や商業施設等で植栽する「どんぐりの苗木」を生産する。

### ・市街地緑化啓発事業

横浜市が都市緑化事業として取り組む「ガーデンネックレス横浜 2019」に協力し、県庁周辺での市街地の緑化を進める。

### ・SDGs 普及イベント事業

SDGs への理解を深める場として都市公園を活用し、当協会や県内の団体等の「SDGs 達成」に向けた活動を紹介する普及イベントを開催する。

## ■フォトコンテスト事業

### ・花とみどりのフォトコンテストの開催

県立都市公園・自然公園等の風景や景観の魅力に触れ、みどり・環境の保全と創造の意識啓発に繋がるフォトコンテストを行う。

### ・花とみどりのフォトコンテスト入賞作品展の開催

当協会が管理運営する都市公園等において、県内各地の様々な風景や景観を通し、みどり・環境の保全の必要性を伝える作品展を開催する。

さらに、福祉施設の利用者等へ癒しの空間を演出するため、県内の福祉施設等と連携を図り、同様の作品展を開催する。

### ・写真教室の開催

幅広い公園の楽しみ方を提供し、利用促進を図るため、専門家の指導による写真教室を開催する。

## ②都市緑化植物園事業

相模原公園は、県立都市公園唯一の都市緑化植物園であることから、都市公園管理運営事業に加え、平成 29 年 10 月にオープンした「グリーンアーカイブス」の着実な運営を行うほか、みどりのまちづくりを推進するための普及事業を開催するなど、都市緑化植物園



としての機能拡充に取り組む。

■グリーンアーカイブス&緑の相談所事業

園内の「公園ナビステーション（緑の相談所）」内に、オープンした「グリーンアーカイブス」において、県内の都市公園や都市緑化に関する資料を収集・展示し、県民や団体等の都市緑化を担う活動を支援するなど、緑の情報発信拠点としての機能充実に努める。

■みどりのまちづくり推進講座開催事業

NPO 法人と協働し、地域で都市緑化を実践するための知識や技術を習得するための講座を開催する。

■ガーデニングスクール事業

園内の「日本庭園」や「緑の街」等を活用し、都市緑化の普及啓発を図るためのガーデニングスクールを開催する。

## カ 公益推進事業

### ①環境・防災対策事業

■環境対策活動資機材の活用

平成 28 年度までに配備したスノーパー等の環境対策資機材を活用し、更なる環境負荷の削減や資源循環型管理の推進に取り組む。

■防災備蓄品の補完・充実及び地域と連携した避難訓練の実施

防災の観点から、発災時に備え、各公園の防災備蓄品の補完・充実に取り組む。

また、地域と連携した避難訓練を実施し、利用者等の避難誘導や平成 28 年度までに配備した防災対策資機材の有効活用に向けたデモンストレーション等の実施、さらには、職員の緊急参集訓練を行うなど、災害時に的確な対応を図るため万全な準備に取り組む。

### ②次期指定管理準備事業

各公園の提案事業の企画及び実現性の検討を行うなど、次期指定管理の応募に向けた準備に取り組む。

### ③グリーンサポート事業

高い専門性と技術力を有した特別指導員による技術指導により、公園管理運營業務における植物管理の質の向上や、公園周辺の幼稚園、保育園における野菜づくりを通じた食育活動を継続する。

また、当協会が独自に設定した管理運営計画や目標の達成度を PDCA チェックシステムにより職員自ら評価を行い、課題の改善や管理運営の質の向上を図る。

さらに、利用者目線で公園サービスの調査を行う「モニター制度」

の実施により、管理運営事業の質や職員の資質の向上を図る。

#### ④大学等の活動支援事業

大学等の公園等に関する自然環境調査や、利用ニーズ調査などの研究活動を支援し、その成果を管理運営に活用するため、支援体制を整備し、連携先の拡大に努めるとともに、研究活動の場としての活用の充実を図る。

#### ⑤広報公聴等事業

協会ウェブサイトや各公園、ビジターセンターのウェブサイト及びTwitter、Facebook等のソーシャルメディアを活用し、公園等のイベント情報、自然情報、安全管理情報等のきめ細かな情報を発信し、質の高い利用サービスを行う。

また、地元タウン誌への記事掲載や、「かながわパークナビ」、「公園への小さな旅」、「オリジナルカレンダー」等の発行に加え、公園、緑地やその制度に関する情報提供を目的とした「新公園かながわ」（仮称）の発行準備を行う。当協会マスコットキャラクター（coちゃん・enちゃん）を活用した広報活動等により、公園の利用促進や協会事業を広くPRするとともに、みどり・環境の保全等の普及啓発を推進する。

さらに、P-PFIが導入される機会を捉え、都市公園における幅広い公民連携による事業展開を進めるための、研修会や講演会を開催する。

## 有料施設の管理運営

指定管理者として管理する県立都市公園等において、有料施設の運営を行う。

### [利用料金]

#### ■保土ヶ谷公園

施設名	料金体系
硬式野球場	1時間 3,550円（他に室内練習場、照明料等有り）
軟式野球場	1時間 1,060円
少年野球場	1時間 470円
サッカー場	◇入場料を徴収しない場合 1時間 10,800円 ◇入場料を徴収する場合 徴収した入場料の総額に10分の1を乗じて得た額
ラグビー場	◇入場料を徴収しない場合 全面1時間 10,800円 半面1時間 5,400円 4分の1面 1時間 2,700円 ◇入場料を徴収する場合 徴収した入場料の総額に10分の1を乗じて得た額
テニスコート	1時間 700円
プール	入場料 大人（中学生以上） 310円 小人（小学生以下） 110円
体育館	全面1時間 1,210円 半面1時間 600円 卓球1面1時間 340円

#### ■秦野戸川公園

施設名	料金体系
少年野球場	1時間 470円
多目的グラウンド A・B	1時間 310円

■辻堂海浜公園

施設名	料金体系
ジャンボプール	入場料 大人（高校生以上） 830 円 中人（中学生） 520 円 小人（小学生以下） 210 円 障害者及び介添え 1 名無料 回数券 大人 7 枚綴り 4,980 円 中人 7 枚綴り 3,120 円 小人 7 枚綴り 1,260 円 ファミリーチケット 大人 2 枚・小人 2 枚 1,700 円
交通展示館	入館料 20 歳以上 310 円 20 歳未満及び学生 210 円 高校生及び 65 歳以上 100 円 ※中学生以下無料
スカイサイクル	利用料金 大人（中学生以上） 210 円 小人（小学生以下） 100 円
多目的広場	利用料金 2 時間単位 620 円

■湘南汐見台公園

施設名	料金体系
少年野球場	利用料金 2 時間単位 940 円
運動広場	利用料金 2 時間単位 620 円

■相模原公園

施設名	料金体系
サカタのタネグリーンハウス	トロピカルガーデン、カクタスガーデン 100 円 ※中学生以下無料

■山岳スポーツセンター

施設名	料金体系
山岳スポーツセンター	◇宿泊等 1泊 3,090円 小学生 1,550円 宿泊以外の利用1室 1時間 160円 ◇研修・トレーニング室 ・一般利用(1人) 午前 160円 午後 210円 ・専用利用(1時間) 520円 ◇屋外クライミングウォール ・一般利用(1人) 午前 470円 午後 620円 ・専用利用(1面) 午前 4,630円 午後 6,180円

[使用料]

■境川遊水地公園

区分	単位(金額)
少年野球場A・B	1時間 (460円)
多目的グラウンド	全面1時間 (300円) 半面1時間 (150円)
テニスコート	1時間 (690円)

※使用料は県に納入

(2) 収益事業

ア 駐車場事業

(ア) 県立都市公園等駐車場管理運営事業

指定管理を受けている公園の駐車場8施設について、利用者が安心・安全で快適に利用できる有料駐車場として、適正な管理と確実な運営を行う。

公園名	駐車料金	収容台数	平成31年度収入見込 (平成30年度収入見込)
保土ヶ谷公園 通年有料 (時間制)	1時間まで 大型 620円 普通 210円 以降30分毎に加算 大型 310円 普通 110円 1日上限 大型 3,000円 普通 1,000円	大型 10台 普通 384台	70,041千円 (69,375千円)
秦野戸川公園 通年有料 (時間制{駐車後30分以降有料})	平日(7/21~8/31・12/29~1/3は休日料金) 中型以上 300~800円 普通車 100~400円 休日 中型以上 620~1,660円 普通車 310~1,040円	大型 10台 普通 302台	21,668千円 (21,668千円)
大磯城山公園 土日祝日有料 (時間制)	1時間まで 中型以上 1,200円 普通 300円 以降30分毎に加算 中型以上 600円 普通 150円 二輪 無料 第2駐車場は通年無料	大型 2台 普通 79台	4,804千円 (4,804千円)
辻堂海浜公園 通年有料 (時間制)	1時間まで 大型 1,030円 普通 420円 以降30分毎に加算 大型 520円 普通 210円 1日上限(プール期間除く) 大型 上限なし 普通 1,200円 二輪 無料	普通 800台	204,121千円 (203,137千円)

公園名	駐車料金	収容台数	平成 31 年度収入見込 (平成 30 年度収入見込)
茅ヶ崎里山公園 通年有料 (1 回制)	平日 大型 600 円 普通 200 円 休日 大型 1,200 円 普通 400 円	大型 10 台 普通 363 台	21,253 千円 (24,551 千円)
恩賜箱根公園 通年有料 (時間制{二輪は 1 回制})	1 時間毎 大型 830 円 普通 310 円 1 回制 二輪 110 円	大型 9 台 普通 62 台 二輪 10 台	28,019 千円 (33,113 千円)
相模原公園 通年有料 (時間制)	平日 大型 300～600 円 普通 100～200 円 休日 大型 1,000～2,000 円 普通 300～600 円 二輪 無料	大型 5 台 普通 282 台	19,375 千円 (19,110 千円)
七沢森林公園 4/1～11/30 の 土日祝日有料 (1 回制)	大型 1,030 円 普通 520 円 二輪 110 円 北口駐車場は通年無料	大型 2 台 普通 202 台	4,525 千円 (4,422 千円)
合 計			373,806 千円 (380,180 千円)

(イ) 自然公園駐車場管理運営事業

大涌谷は、富士箱根伊豆国立公園内に位置しており、箱根を代表する景勝地であり、園地には多くの観光客が訪れる観光名所である。

現在、大涌谷の火山ガスの影響により、大涌谷自然研究路等の園地の一部の立入りや利用時間についての規制が行われているため、引き続き、園地事業者と連携を図り、火山ガス等に対応した避難訓練の実施や大涌谷園地監視員を配置するなど、利用者が常に安全安心で快適に利用できる有料駐車場の運営を行う。併せて、「箱根山火山防災協議会」の取り組みに協力する。

また、引き続き当協会が「箱根大涌谷園地活性化協議会」の事務局となり、園地事業者、環境省（箱根自然環境事務所）、神奈川県、箱根町等の関係者と連携を図り、更なる利用者の安全性と利便性の向上に努める。

加えて、年度内に自然研究路の再開が見込まれることから、関係機関と連携を図り、安全な運用に協力する。

公園名	駐車料金	収容台数	平成 31 年度収入見込 (平成 30 年度収入見込)
大涌谷駐車場 通年有料 (1 回制)	二輪車 110 円 普通 520 円 大型 1,550 円	二輪車 10 台 普通 112 台 大型 12 台	127,000 千円 (137,000 千円)

公園名	駐車料金	収容台数	平成 31 年度収入見込 (平成 30 年度収入見込)
大涌谷大型バス専用 駐車場 通年有料 (1 回制)	大型 1,550 円	大型 14 台	24,000 千円 (26,000 千円)
合 計			151,000 千円 (163,000 千円)

#### イ 自動販売機事業

指定管理を受けている公園において、利用者の利便性とサービスの向上を図るため、自動販売機の管理運営を行う。

公園名	設置数	平成 31 年度収入見込 (平成 30 年度収入見込)
保土ヶ谷公園	28 台	4,961 千円 (4,888 千円)
塚山公園	2 台	264 千円 (211 千円)
秦野戸川公園	8 台	3,056 千円 (2,628 千円)
大磯城山公園	5 台	700 千円 (608 千円)
辻堂海浜公園	25 台	12,478 千円 (12,205 千円)
湘南汐見台公園	3 台	520 千円 (514 千円)
茅ヶ崎里山公園	16 台	6,413 千円 (6,161 千円)
境川遊水地公園	12 台	3,586 千円 (4,207 千円)
恩賜箱根公園	4 台	1,338 千円 (1,284 千円)
相模原公園	12 台	4,045 千円 (3,899 千円)
七沢森林公園	9 台	1,541 千円 (1,512 千円)
座間谷戸山公園	6 台	2,780 千円 (2,666 千円)
津久井湖城山公園	4 台	666 千円 (643 千円)
合 計	134 台	42,348 千円 (41,426 千円)



ウ 売店等管理運営事業

当協会が管理運営する県立都市公園等の利用者の利便性とサービスの向上を図るため、売店や軽飲食施設等の管理運営を行う。

公園名	施設	設置数	平成 31 年度収入見込 (平成 30 年度収入見込)
保土ヶ谷公園	売店・軽飲食	8 施設	3,194 千円 (3,757 千円)
	オートテニス	1 施設	1,312 千円 (1,364 千円)
秦野戸川公園	バーベキュー場	1 施設	9,753 千円 (9,418 千円)
	茶室	1 施設	4,455 千円 (5,237 千円)
大磯城山公園	茶室	1 施設	3,470 千円 (3,982 千円)
辻堂海浜公園	売店・軽飲食	9 施設	12,293 千円 (11,836 千円)
	シャワー・ロッカー	4 施設	10,405 千円 (10,590 千円)
茅ヶ崎里山公園	バーベキュー場	1 施設	13,314 千円 (12,626 千円)
境川遊水地公園	温水シャワー	1 施設	70 千円 (73 千円)
恩賜箱根公園	茶処	1 施設	2,850 千円 (2,825 千円)
相模原公園	売店・軽飲食・EV 充電器	3 施設	425 千円 (1,495 千円)
七沢森林公園	バーベキュー場	1 施設	12,000 千円 (13,433 千円)
	陶芸教室	1 施設	1,640 千円 (1,810 千円)
津久井湖城山公園	バーベキュー場	1 施設	4,370 千円 (5,411 千円)
合 計			79,551 千円 (83,857 千円)

エ ①新規収益事業等の調査・検討

各公園における便益施設等のニーズを把握し、各公園の特性に合わせた新規収益事業や物品販売等の可能性について調査・検討を行う。

また、県立都市公園に導入予定の P-PFI への応募を検討する。

(3) 公園協会管理運営事業

ア 評議員会・理事会等運営事業

区分	予定年月	審議予定項目
定時評議員会	平成 31 年 6 月	平成 30 年度収支決算 平成 30 年度事業報告 等
定例理事会	平成 31 年 6 月	平成 30 年度事業報告 平成 30 年度収支決算 定時評議員会の開催 等
	平成 32 年 3 月	平成 32 年度事業計画 平成 32 年度収支予算 等
臨時理事会	平成 31 年 6 月	理事長及び専務理事の選定
	平成 31 年 10 月	公園等視察調査 等

イ 事務局等の運営事業

当協会の業務の基盤となる事務局の管理及び運営に要する経費等を確保し、適切に運営する。